

## 第7回久慈市議会定例会議会議録（第4日）

### 議事日程第4号

平成28年6月22日（水曜日）午後1時30分開議

- 第1 議案第3号、議案第5号（総務委員長報告・質疑・討論・採決）
- 第2 議案第4号、請願受理第3号（教育民生委員長報告・質疑・討論・採決）
- 第3 議案第1号（質疑・討論・採決）
- 第4 議案第2号（質疑・討論・採決）
- 第5 議案第6号  
提案理由の説明・総括質疑  
委員会付託省略  
議案第6号（質疑・討論・採決）
- 第6 発議案第6号（採決）

### 会議に付した事件

- 日程第1 議案第3号 復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例  
議案第5号 久慈市議会議員及び久慈市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例
- 日程第2 議案第4号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
請願受理第3号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、平成29年度政府予算に係る意見採択の要請についての請願
- 日程第3 議案第1号 平成28年度久慈市一般会計補正予算（第1号）
- 日程第4 議案第2号 平成28年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 日程第5 議案第6号 平成28年度久慈市一般会計補正予算（第2号）
- 日程第6 発議案第6号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出について

### 出席議員（24名）

- 1 番 豊 卷 直 子君 2 番 岩 城 元君  
3 番 小 倉 利 之君 4 番 黒 沼 繁 樹君  
5 番 山 田 光君 6 番 上 山 昭 彦君  
7 番 泉 川 博 明君 8 番 澤 里 富 雄君  
9 番 二 子 賢 一君 10 番 下川原 光 昭君  
11 番 桑 田 鉄 男君 12 番 畑 中 勇 吉君  
13 番 佐々木 栄 幸君 14 番 砂 川 利 男君  
15 番 中 平 浩 志君 16 番 小野寺 勝 也君  
17 番 城 内 仲 悦君 18 番 山 口 健 一君  
19 番 八重櫻 友 夫君 20 番 下 舘 祥 二君  
21 番 高屋敷 英 則君 22 番 宮 澤 憲 司君  
23 番 大 沢 俊 光君 24 番 濱 欠 明 宏君

### 欠席議員（なし）

### 事務局職員出席者

事務局長 澤口 道夫 事務局次長 及川 忠則  
議事係長 皆川 賢司 議 事 係 長 内 紳 悟

### 説明のための出席者

市 長 遠藤 謙一君 副 市 長 中居 正剛君  
総 務 部 長 澤里 充男君 総合政策部長 一田 昭彦君  
総合政策部副部長 川合 政伸君 生活福祉部長 (兼)福祉事務局長 和野 一彦君  
産業経済部長 浅水 泰彦君 建 設 部 長 (兼)水道事務局長 滝沢 重幸君  
会 計 管 理 者 古屋敷重勝君 山形総合支所長 鹿糠沢光夫君  
教育委員長 成田 不美君 教 育 長 加藤 春男君  
教 育 部 長 中務 秀雄君 選挙管理委員長 大沢 寿一君  
総 務 課 長 (併)選挙事務局長 夏井 正悟君 財 政 課 長 久慈 清悦君  
政策推進課長 大崎 健司君 教 育 委 員 会 教 育 総 務 課 長 大橋 卓君

午後1時30分 開議

○議長（中平浩志君） ただいまから本日の会議を開きます。

### 諸般の報告

○議長（中平浩志君） 諸般の報告をいたします。市長から議案1件の追加提出があり、お手元に配付して

あります。

次に、議員発議案1件を受理して、お手元に配付してあります。

〔参 考〕

発議案第6号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出について

上記の議案を別紙のとおり、久慈市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成28年6月22日提出

久慈市議会議長 中 平 浩 志 様

提出者 久慈市議会議員 小野寺勝也

提出者 久慈市議会議員 山口 健一

提出者 久慈市議会議員 濱欠 明宏

提出者 久慈市議会議員 澤里 富雄

提出者 久慈市議会議員 高屋敷英則

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

日本はOECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっている。しかしながら、第7次教職員定数改善計画の完成後10年もの間、国による改善計画のない状況が続いている。

自治体が見通しを持って安定的に教職員を配置するためには、国段階での国庫負担に裏付けされた定数改善計画の策定が必要であり、一人ひとりの子どもたちへのきめ細やかな対応や学びの質を高めるための教育環境を実現するためには、教職員定数改善が不可欠である。また、新しい学習指導要領により、授業時数や指導内容が増加しているほか、日本語指導などを必要とする子どもたちや障がいのある子どもたちへの対応、いじめ・不登校などの課題もある。こうしたことの解決にむけて、少人数教育の推進を含む計画的な教職員定数改善が必要である。

いくつかの自治体においては、厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置が行われており、このことは、自治体の判断として少人数教育の推進の必要性を認識していることの現れであり、国の施策として定数改善にむけた財源保障をすべきである。

子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一

定水準の教育を受けられるよう、憲法に教育を受ける権利が定められているが、三位一体改革により義務教育費国庫負担制度の負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられた結果、自治体財政が圧迫され、非正規教職員も増えている。

よって、子どもの学ぶ意欲・主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠であることから、下記事項が実現されるよう強く要望する。

記

- 1 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月22日

岩手県久慈市議会  
議長 中 平 浩 志

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿  
内閣総理大臣 殿  
総務大臣 殿  
財務大臣 殿  
文部科学大臣 殿

~~~~~

日程第1 議案第3号、議案第5号

○議長（中平浩志君） これより本日の議事日程に入ります。

日程第1、議案第3号及び議案第5号を議題といたします。

以上に関し、委員長の報告を求めます。畑中総務委員長。

〔総務委員長畑中勇吉君登壇〕

○総務委員長（畑中勇吉君） 本定例会議において、総務委員会に付託されました議案2件について、去る6月17日に委員会を開催し、審査いたしましたので、その経過と結果についてご報告いたします。

まず、議案第3号「復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例」について申し上げます。

本条例は、国の省令の一部改正により、地方税の課税免除を行った場合における減収補填措置の対象となる固定資産の取得期間の期限が、平成28年3月31日までから平成29年3月31日まで延長されたことに伴い、市においても復興産業集積区域における産業の振興を図るため、固定資産税の課税免除の対象となる固定資産の取得期間を延長し、あわせて所要の整備をしようとするものであります。

審査の過程におきましては、市における復興産業集積区域の範囲と該当する事業者数について、対象となる事業者への丁寧な周知について、再延期の可能性について、新たに起業する方への周知と支援策などについて質疑が交わされたところであります。

採決の結果、議案第3号は、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第5号「久慈市議会議員及び久慈市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例」について申し上げます。

本条例は、国において、平成26年4月に実施した消費税率改正を踏まえ、衆議院議員及び参議院議員の選挙における選挙運動に関し、選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に要する経費に係る限度額を引き上げるため、平成28年4月8日に公職選挙法施行令の一部を改正したことから、国の例に準じて条例を改正し、久慈市議会議員及び久慈市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に要する経費に係る限度額を変更しようとするものであります。

審査の過程におきましては、今回の改正の背景、要因について、経費単価への都市部と地方との物価差の反映などについて質疑が交わされたところであります。

採決の結果、議案第5号は、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、委員長報告を終わります。

○議長（中平浩志君） ただいまの委員長報告に対し、質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

次に、討論であります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 討論なしと認めます。

それでは、採決いたします。

議案第3号「復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例」、議案第5号「久慈市議会議員及び久慈市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例」、以上2件は、委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中平浩志君） 起立全員であります。よって、議案第3号及び議案第5号は、原案のとおり可決されました。

~~~~~

## 日程第2 議案第4号、請願受理第3号

○議長（中平浩志君） 日程第2、議案第4号及び請願受理第3号を議題といたします。

以上に関し、委員長の報告を求めます。山口教育民生委員長。

〔教育民生委員長山口健一君登壇〕

○教育民生委員長（山口健一君） 本定例会議において、教育民生委員会に付託されました議案1件及び請願1件について、去る6月17日に委員会を開催し、審査いたしましたので、その概要と結果についてご報告申し上げます。

初めに、議案第4号「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」について申し上げます。

本条例は、国の家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、家庭的保育事業等における職員の配置及び設備の基準を改めようとするものであります。

具体的な内容であります。大きく分けて3つの改正を行おうとするもので、1つ目は、小規模保育事業A型と保育所型事業所内保育事業所の4階以上の階に保育室等がある場合、避難用の特別避難階段の施設について排煙設備要件を緩和しようとするものである。2つ目は、小規模保育型事業所A型、小規模保育事業所B型、保育所型事業所内保育事業所、小規模型事業所内保育事業所に配置する保育士の算定について、保健師または看護師を1人に限り保育士とみなすことができるものとされていた基準に准看護師を加えようとするものである。3つ目は、小規模保育事業所A型及

び保育所型事業所内保育事業所の職員の配置基準について、幼稚園、小学校、養護教諭免許を有する者を保育士とみなすことができるなど、当分の間、緩和する特例を設けようとしようとするものであるとの当局からの説明がありました。

審査の過程におきましては、本市での将来的な見込みについて、みなし規定の捉え方などについて質疑が交わされたところであります。

採決の結果、議案第4号は、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、請願受理第3号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度の2分の1復元を図るための、平成29年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願」について申し上げます。

本請願は、OECD諸国と比較し、日本は1学級及び教員1人当たりの児童生徒数が多い現状にある。また、学校を取り巻く状況が複雑化する中、国では10年もの間、改善計画がない状況が続いている。子供たちへの教育環境の改善並びに自治体が安定的に教職員を配置するためには、国段階での国庫負担に裏づけされた教職員定数改善計画の策定が必要不可欠である。そのため、政府の来年度予算編成において、計画的な教職員定数改善を推進すること、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること、以上の2点が実現されるよう国の関係機関に対し、意見書を提出してほしいというものであります。

審査に当たりましては、請願者からの意見陳述を受け、委員間討議を行ったところであります。

審査の過程におきましては、これまでの請願に対する国・県の状況について、正規教職員以外の支援員等の実態などについて質疑説明が交わされたところであります。

採決の結果、請願受理第4号は、全員異議なく、採択すべきものと決しました。

以上で委員長報告を終わります。

失礼しました。訂正いたします。「請願受理第4号」と言いましたが、「請願受理第3号」でございます。訂正いたします。

○議長（中平浩志君） ただいまの委員長報告に対し、質疑を許します。17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） 議案第4号について、委員長からまず聞かせてください。

3点にわたって、緩和特例が出たということで、排煙の方法の緩和、それから准看護婦の登用ということ、それから養護教諭等の登用ということでもございましたが、この緩和によって、例えば認可保育所と無認可保育所等によって死亡事故等も全然違ってきてるんですけども、この緩和によって、その辺が心配されなかったのか、そういう議論がなされなかったのかどうか、まずお聞かせください。

○議長（中平浩志君） 教育民生委員長。

○教育民生委員長（山口健一君） 本市においては、そういった排煙といいますと4階以上という形では、現在該当するものがないということもあまして、審議の過程の中で、久慈市にそういった今小規模型の対象の施設があるかという質問がありましたけれども、久慈の現在には、そういった当てはまるものがないということで、将来的にはどうなるかわからないということでしたが、あともうひとつそういった排煙に関しての質問は出ませんでした。

以上でございます。

○議長（中平浩志君） 17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） それじゃあ、当局に何点かお聞かせください。実は、総務省、内閣府が公表した、この保育園分類ごとに各年度ごとの死亡事故数があるんですが、例えば、幼保連携認定、この場合は平成27年からですから1件だけなんです。それから認可保育所、これは平成16年から27年まで52件、小規模保育所も、これも平成27年に始まってますが、1件、それから認可外保育施設、これが120件あるわけですよ。こういう事故が起きている中で、私どもは政策として、認可保育所を増やすべきだということは、ずっと国の段階でも言って申し上げているんですが、まさに定数が足りないということで、国はつくりやすい、あるいは民間に開放する、あるいは株式会社でもいいんだという状況まで広がってるんですけど、そういった中で、この認可外保育所の死亡事故がふえてるという実態が、もう国の資料で出てるんですけども、このことについてのご認識をおありなのかどうかお聞かせいただきたい。

今回、出た家庭用保育事業の施設設備、この条例関係は、平成26年にしたばかりなんですけども、これ今私が言ったどの分類に当たる保育施設なのかお聞かせください。

○議長（中平浩志君） 和野生活福祉部長。

○生活福祉部長（和野一彦君） 小規模型の保育所は、どの分類に当たるのかということですが、今の議員がおっしゃった分類には、どれにも当てはまるものではございません。この小規模型の保育所は、久慈には該当する事業者はございません。将来的にはどうなるかわかりませんが、現在のところそういうふうな動きもございませんし、現在ないというふうな、ないというものでございますので、ご了承願います。

○議長（中平浩志君） 17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） なけりゃないということはいわけですが、ただ将来、こういった条例があるということは、可能性として当然出てくるわけですので、久慈市が進める保育行政については、確かに国の政策があるんだけど、しかし、認可保育所をやっぱり基本にやっっていくんだという方向、こども園も出るんだけど、やっぱり基本的にはそこがないと、子供の命等を考えると、やっぱり今申し上げたように、国の指導でこうですから、今言ったように、認可保育所で52件、平成16年度から27年まで、それから認可外保育所で120件なんです。倍以上の事故がこの無認可保育所で起きてることですから。

それはやっぱりいろんな人的な対応等が少ない状況の中で、うつ伏せで寝せておくとかというところがあったりして死亡事故が発生してはるんですが、そういう点で、基本的には、やっぱり久慈市の方向とすれば、認可保育所をふやしていくんだと、必要な場合ですよ。ふやしていくんだという方向を私は堅持してほしいなと思うんですが、お聞かせください。

○議長（中平浩志君） 和野生活福祉部長。

○生活福祉部長（和野一彦君） 認可保育所、これを中心に、久慈市としても堅持していくべきだというお話でございますが、まさにそのとおりでございます。そういう意味で、市といたしましても、新たな認定こども園の設置への補助、あるいは認可保育所の定員の増、そういうふうな手法でもって対応していきたいというふうな考えておりますし、まさにそういうふうな手法でもって対応しているところでございますので、ご了解願います。

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

次に、討論であります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 討論なしと認めます。

それでは、採決いたします。

まず、議案第4号「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」について、採決いたします。

本案は、委員長の報告のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中平浩志君） 起立多数であります。よって、議案第4号は、原案のとおり可決されました。

次に、請願受理第3号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、平成29年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願」について、採決いたします。

本請願は、委員長の報告のとおり採択することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中平浩志君） 起立全員であります。よって、請願受理第3号は、採択と決定いたしました。

~~~~~

### 日程第3 議案第1号

○議長（中平浩志君） 日程第3、議案第1号「平成28年度久慈市一般会計補正予算（第1号）」を議題といたします。

議案の審議方法についてお諮りいたします。第1条、歳入歳出予算の補正については、歳入歳出それぞれ款ごとに説明を受け、審議を行うことといたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

この際、議員各位に申し上げます。補正予算に対する審議は、補正予算書に計上されている内容に対して行うよう、ご留意お願いいたします。

第1条、歳入歳出予算の補正、歳入、13款国庫支出金、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） それでは、事項別明細書によりご説明を申し上げます。

10ページをお開き願います。歳入、13款国庫支出金1項国庫負担金であります。2目災害復旧費負担金は、本年1月18日の暴風雪災害の復旧事業の財源として、漁港施設災害復旧費負担金5億7,738万7,000円を

計上いたしました。2項国庫補助金であります。1目総務費補助金は、個人番号カード交付事業253万5,000円の増、ほか1件の増、合わせて854万2,000円の増額、2目民生費補助金は、児童健全育成対策費補助金300万円の増額、5目商工費補助金は、社会資本整備総合交付金中心市街地活性化推進事業4,040万円の減額、7目教育費補助金は、緊急スクールカウンセラー等活用事業36万9,000円の増額、この項は、合わせて2,848万9,000円の減額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

次に、14款県支出金、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 14款県支出金1項県負担金であります。3目消防費負担金は、水門自動遠隔化事業として1,253万3,000円の増額を計上いたしました。2項県補助金であります。1目総務費補助金は、公共施設再生可能エネルギー等導入事業432万円の増額、3目衛生費補助金は、被災者健康づくりサポート事業177万8,000円の減額、5目農林水産業費補助金は、中山間地域等直接支払推進事業35万1,000円の増額、この項は、合わせて289万3,000円の増額を計上いたしました。

3項委託金であります。7目教育費委託金は、防災教育復興教育推進事業39万9,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。24番濱欠明宏君。

○24番（濱欠明宏君） 私から、県支出金の1項県負担金の消防費負担金、水門自動遠隔化事業についてですが、今わかっている段階で、どのような流れで、そして供用開始はいつごろになるのかという見通しについてお聞かせを願いたいと思います。

○議長（中平浩志君） 澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 水門の遠隔化の関係でございますが、これにつきましては、歳出のほうで遠隔化操作室のほうの整備費について計上させていただいておりますけれども、昨年、設計費のほうは執行させていただいておりますので、それに基づいて工事を行い

たいというふうに考えておりました。それで、操作盤については、県のほうで作成をするということで、その盤を据えつけるための操作室を今回整備をしたいという考えでございます。

それで、操作する対象となる水門の数については、今のところ13門を予定しておりますが、13門のうち県の管理するものは11門と、市の管理するものが2門ということで、その据えつけは今年度中に終わる予定ですけれども、あとはその水門のほうの準備も並行してやるわけですけれども、それは全部が今年度とはならないようございまして、まずその準備ができたものから順次、対応していくと、操作をできるようになるというふうなことで進めたい考えでございます。

以上でございます。

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

15款財産収入、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 15款財産収入1項財産運用収入1目財産貸付収入であります。電力柱設置に伴う土地貸付料として6,000円を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

17款繰入金、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 17款繰入金1項基金繰入金であります。1目財政調整基金繰入金は5,635万1,000円の増額、5目ふるさと活性化創造基金繰入金は151万2,000円の増額、この項は合わせて5,786万3,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

19款諸収入、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 12ページをお開き願います。19款諸収入4項4目雑入であります。日赤車購入助成金90万円の増、ほか1件の増、合わせて530万円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） 自治総合コミュニティ助成事

業の中身お聞かせください。

○議長（中平浩志君） 一田総合政策部長。

○総合政策部長（一田昭彦君） ご承知のとおり、これは財団法人の自治総合センターが行うコミュニティ助成事業を活用して備品の整備等を行うものでございまして、あわせて宝くじの普及事業も行う。

ことしの採択になりましたのは、砂子町内会の除雪機の整備190万、それと荷軽部太鼓の会、太鼓ほか備品の整備250万、合わせて440万となります。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

20款市債、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 20款1項市債であります。歳出予算に計上いたしました各事業のうち、適債事業について市債を発行しようとするもので、公共施設事業債120万円の増、ほか4件の増、この項合わせて5億5,460万円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

次に、歳出、2款総務費、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 14ページをお開き願います。歳出、2款総務費1項総務管理費であります。1目一般管理費は、行政事務一般経費102万4,000円の増、ほか1件の増、合わせて106万4,000円の増額、5目財産管理費は、久慈消防署旧山形分署解体にかかわる設計費として、管財経費125万5,000円の増額、6目企画費は、企画関係事務経費125万3,000円の増、ほか4件の増、合わせて1,172万円の増額、この項は、合わせて1,403万9,000円の増額を計上。3項1目戸籍住民基本台帳費であります。個人番号カード等事務経費253万5,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。16番小野寺勝也君。

○16番（小野寺勝也君） 1点、個人番号カードについてお聞かせください。たしか、職場関係にも法律的には提出の義務が、法律上うたってないというふうに承知してはるんですが、役所に出す書類にも、これを必ず番号をつけなければ受理されないと、受理できない

という法律的な根拠はあるんですか。

実は最近、あるお年寄りの方が一人でお住まいなんですが、手続に番号を持ってこないとだめだという例が発生して、実際に役所から書留で送ってはいるようなんですが、それも記憶がおぼろになってしまって、どこにあるかもわからないというようなことで大変苦労した例をお聞きました。

そういう点では、法律上、やっぱり書かなければ受理されないという法律上、そこをはたしてうたってるのかどうかというのをちょっと疑問だったもので、その点、法律はどのようになっていますか。お聞かせください。

○議長（中平浩志君） 和野生活福祉部長。

○生活福祉部長（和野一彦君） 個人番号カードの法律上の位置づけということでございますけども、これにつきましては、ちょっと資料を取り寄せてご答弁を申し上げます。

○議長（中平浩志君） 17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） そのマイナンバーカードのことですが、ちょっとお伺いしますが、前の議会で、このマイナンバーカード導入のことで、市庁舎の進入禁止区域をつくるということでつくったんですけども、私ども議員も部長、課長に会いたくても会えないというルートが、会えないんです、なかなか。だから、私、やっぱりマイナンバーカード導入して、たしかにパソコンとかいろいろなものが見これないと、そうなんですけども、私どもはいちいち開けるわけじゃないし、例えば部課長のところに行くルートはありますよというような、きちんとつくっておかないと、やはり開かれた役所になってないんです。ナンバーカード導入によって、まさにその窓口ですら部長と課長と会えないという、ちょっと異常な状況があるんですね。

例えば、税務課もそうですよ。だから、そのルート、このルートだと課長の席まで行けるんだというルートをちゃんとつくっていただいて、開かれた市役所にしてほしいんです。そうでないと、わざわざ立って来てもらって会うということになりますし、本当にマイナンバーに関して、パソコンのナンバーを持ってないと開けないし、わざわざ私どもが行って開けるわけはないだろうし、そういった過度に敏感な対応をしているのかなという気がしてならないんですが、そういう整備をしますよということで、ああそうかと簡単に思っ

たんですけど、しかし、現実、かなりつい立ては立てるし、本当に経費も相当かかっていると思うんですよ、あれ。あんなにまでしなきゃならないかということで、非常に疑問を呈している日常なんですけど、そうした点で、今言ったように、部長、課長には、私どもが会えるというルートをぜひ確保していただきたいんですが、いかがでしょうか。

○議長（中平浩志君） 一田総合政策部長。

○総合政策部長（一田昭彦君） 議員お話しのとおり、総務省の指導により、ちょっと各執務室に入りにくくなった部分もございます。ただこれは、マイナンバーがきっかけではありますが、そもそも個人情報保護、流出を避けると、漏えいを避けるということでの全体での総務省の指導になります。

ただ、今お話しのとおり、やっぱり住民に密接な行政というのが当然我々も必要な観点でございますので、そのような配置等については、今後ともやっぱり工夫していかなければならないと思っておりますので、その点は少し時間をいただきたいと思っております。

以上です。

○議長（中平浩志君） 17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） 今、個人情報保護ということで話がありました。大体大きなデータを持ってる人たちが一番流出してるんじゃないですか、いろんなところで。私は、わざわざ個人情報欲しいって行きませんよ。ほとんどパソコンにいっぱいデータ持った人たちが、誤りましたって謝って終わりじゃないですか、あれは。久慈市役所だっていっぱいデータ持ってます。みんなパソコン上でばれて、皆出てきますよ。そうすると、誰も責任とらないで、申しわけありませんでしたって終わってるでしょう。この間も、JALですか、日本航空ですか、あるいはJTBですか、ああいう大きな会社がデータ持っていて皆ばらけて、誰が責任取るのかということなんですよ。

だから、個人情報って言いますが、私たちは地域でさまざまいろんなことをするに当たって個人情報がないと、地域の活動もできないし、地域をつくることもできない。共有してこそ私は地域も栄えていくと思うんで、個人情報個人情報って、いろんな規制をかけ過ぎだと私は思いますので、そういう点で、今答弁あったとおり、もっと風通しのいいと思いますか、総務省の指導と言いますが、どういう指導が来てるかわ

かりませんが、本当に過度な対応をしないように、ひとつ改善方を再度お願いしたいと思っております。

○議長（中平浩志君） 一田総合政策部長。

○総合政策部長（一田昭彦君） お話しのとおり、特にデータをたくさん持つてるとするのは国とか、大きな機関となりますが、当然やっぱりそれらの漏えい等については、国を中心にしっかりと検討、そして対策を練っていただきたいと考えております。

ただ、そうは言いますが、我々の管理する側のミス、手違いによって大切な個人の情報が漏えい、流出することのないよう万全を期していきたいと思っておりますし、また今のお話しのとおり、いろいろと職場の環境については、工夫してまいりたいと考えております。

以上です。

〔発言する者あり〕

○5番（山田光君） すみません、ちょっと聞かせてください。ただいま城内さんの漏えいの関係ですが、大きい話じゃないんですけども、役所に入ってきたとき、非常に何かこう心が開けないで明るくならないような雰囲気なんですけど、いずれこれ市長の、いろいろプライバシーもあってなんなんですけど、市長のこれは指示だったんでしょうか。何か、みんな言ってます。何か行けば閉鎖的な、どうなってるかあれですけど、ちょっとお伺いします。

それからもう1点、十何市あるわけですが、久慈市だけああいう状況にあるのかないのか、1階の雰囲気、つい立てとかさまざま。何となくあれですけど、そうになると、もし外したとなると、やっぱりそういうプライバシーにかかわるようなことについては、どっかの会議室だったり、ご案内をして、お話を頂戴して、そして指導するとか、あるいは課長さん方が直接対応してくると、そういった方法もあるかと思いますが、どうなんでしょう。お伺いいたします。

○議長（中平浩志君） 一田総合政策部長。

○総合政策部長（一田昭彦君） 部屋の配置に関してのご質問と捉えてよろしいですか。我々も他市等のいろいろな配置等を実際に見たわけではないんですが、ネット等でいろいろ調べて、それから総務省の指導なんかによりますと、都会のほうの他市のほうはもっともっと厳しい状況かなと思ってました。

そういう部分で、久慈のほうは、ある程度、できる限り住民との導線を配慮してるつもりでございますが、



他市ですと、いわゆるセキュリティ保護のために指紋認証とか、そういうのを、一般の方が入れない、全く一般の方も遮断しておるような部屋でやるとか、そういうのも見受けられますので、久慈の場合は、これからは総務省の指導等もますます厳しくなってくる感じもありますが、いろいろ工夫してまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（中平浩志君） 山田議員、補正予算に関することでお願いしたいんですが、先ほども言いましたけれども、補正予算に関することについて質問を受けつきたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

先ほどの小野寺議員の答弁を保留し、補正予算の審議を継続します。

質疑を打ち切ります。

3款民生費、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 3款民生費1項社会福祉費であります。1目社会福祉総務費は、国保特別会計事業勘定繰出金51万9,000円の増額を計上、2項児童福祉費であります。1目児童福祉総務費は、児童扶養手当支給事務費71万3,000円の増額、新規事業といたしまして、放課後児童クラブのICT機器導入を推進する放課後児童推進クラブ環境改善整備推進事業費400万円を計上、合わせて471万3,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

4款衛生費、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 4款衛生費1項保健衛生費であります。1目保健衛生総務費は、看護師養成事業費96万円の増、ほか1件の財源更正、3目予防費は、B型肝炎の定期接種化に伴う経費として、感染症予防事業費823万8,000円を増額、16ページをお開き願います。この項は、合わせて919万8,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

6款農林水産業費、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 6款農林水産業費1項農業費であります。3目農業振興費は、国の中山間地域等直接支払交付金の対象となる見込みの農用地の測量を実施する経費として、中山間地域等直接支払推進事業費44万3,000円の増、ほか1件の増、合わせて105万2,000円の増額を計上、2項林業費であります。2目林業振興費は、部分林分収交付金4,000円の増額を計上、3項水産業費であります。2目水産業振興費は、水産業共同利用施設災害復旧事業費補助金106万3,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） この中山間の関係ですが、この事業が導入されて久しいわけですが、現時点でどういう状況になってるのか。中山間に指定されても、例えば耕作放棄地が出てきたり、さまざまな現象が出てきていると思うんですが、どういう状況に現在あるのかお聞かせください。

○議長（中平浩志君） 浅水産業経済部長。

○産業経済部長（浅水泰彦君） 中山間地域の直接支払交付金というものがございまして、協定を締結してそれぞれ取り組んでいただいているというところでございます。

現状でございまして、集落協定が5集落、それから個別協定として、これは草地利用組合といいますか、牧野等になるわけですが、こちらのほうが3件ということで、すいません、集落協定については5集落なんですけれども、2つの地区が1つになってる部分がございますので、集落協定とすれば4件で、5口というふうなことになります。

面積的には、合計で54ヘクタール弱というふうなことになってございます。交付金額でございまして、これは全集落、個別あわせまして、702万4,000円ほどの直接支払交付金というふうになってございます。

以上でございます。

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

7款商工費、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 7款1項商工費であります。2目商工業振興費は、財源更正のため補正額の増減はありません。3目観光費は、新規事業として漁

業体験を通じた心の交流事業費35万円を計上、同じく新規事業といたしまして、夏休みフレッシュ自然体験交流活動支援事業費336万1,000円を計上、この項は合わせて371万1,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） この夏休みフレッシュ自然体験、もうちょっと内容を具体的にお聞かせください。

○議長（中平浩志君） 浅水産業経済部長。

○産業経済部長（浅水泰彦君） 夏休みフレッシュ自然体験交流活動支援事業でございますけれども、これは復興交付金のほうを活用いたしまして、4月22日付でその配分可能ということで通知を受けたものでございます。

内容といたしますと、福島県の被災といえますか、避難住宅とかそういったところで生活している子供たちを受け入れて、地元の子供たちとの交流を図ろうとするものでございまして、現在のところ、小学生が30人、中学生が20人、そして引率の方で8人というふうなことで、トータル58人ほど受け入れするというふうなところで事業を検討しているところでございます。

失礼いたしました。ただいま復興交付金と申し上げましたけれども、被災者支援総合交付金でございます。訂正いたします。

以上でございます。

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

8款土木費、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 8款土木費1項土木管理費であります。1目土木総務は、国道45号岩手整備促進期成同盟会負担金5万4,000円の減、ほか1件の増、合わせて補正額の増減はありません。2項道路橋梁費であります。3目道路新設改良費は、組替のため補正額の増減はございません。

18ページをお開き願います。5項都市計画費であります。1目都市計画総務費は、街なか居住促進事業費100万円の増、5目公園費は、組替のため補正額の増減はありません。

以上でございます。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

9款農消防費、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 9款1項消防費でございますが、4目水防費は、防災センター内に水門等の遠隔操作室を整備する経費として、水防活動経費1,481万2,000円の増額、5目災害対策費は、防災センター維持管理経費118万8,000円の増額、この項合わせて1,600万円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。6番上山昭彦君。

○6番（上山昭彦君） 水門の操作をするところをつくるといっていますが、それは防災センター内のほかにも本庁舎内のほうにもそういう施設はできるわけでしょうか。

○議長（中平浩志君） 澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 現在のところ、防災センターの中に設置したいという考えでございますので、庁舎のほうには予定はしておりません。

○議長（中平浩志君） 6番上山昭彦君。

○6番（上山昭彦君） 過日、6月15日に津波避難訓練がありましたけれども、その際に水門に不具合があった場所もありましたが、それは工事は県のほうでやるわけですが、その水門を閉める、例えば津波が来て、閉めようと思ったけども何か引っかかって動かないというときには、そのバックアップで何か強制的に閉める方法とかというのも考えられているでしょうか。

○議長（中平浩志君） 澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） そのバックアップにつきましては、その操作盤とかそういった部分については、県のほうで今製作をしているということで、当然、そのバックアップについてもいろいろ検討していると思っております。詳細については、ちょっと把握していないところでございます。

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

この際、小野寺議員の質問に対する保留中の答弁を求めます。和野生活福祉部長。

○生活福祉部長（和野一彦君） 小野寺議員に保留しておりましたマイナンバーカードの法律上の位置づけということでございますが、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、これによりまして、番号を書くことが義務づけられては

おります。しかしながら、個人番号の番号法で定められた事務では個人番号の提出が義務づけられておりますけれども、個人番号の記載がなかったことや提出を拒否したからといって申請書等の受理をしないということはありませんということで、ご理解をお願いします。

○議長（中平浩志君） 10款教育費、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 10款教育費1項教育総務費でございますが、5目教育研究指導費は、新規事業として、いわての復興教育学校支援事業費40万2,000円を計上、ほか1件の増、この項は合わせて77万3,000円の増額を計上、2項小学校費であります。久慈小学校に防砂ネットを設置する経費として、学校維持補修経費223万6,000円の増額、3項中学校費であります。侍浜中学校の階段に手すり等を設置する経費として、学校維持補修経費69万5,000円の増額、4項社会教育費であります。4目文化会館費は、新規事業としてアンバーホールの舞台音響設備を改修する経費として、文化会館改修事業費2億300万円の増額、ほか1件の組替。

20ページをお開き願います。5項保健体育費であります。1目保健体育総務費は、岩手県スポーツ推進委員研修会実行委員会負担金7万5,000円の増額、3目学校給食費は、組替のため補正額の増減はございません。

以上でございます。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。16番小野寺勝也君。

○16番（小野寺勝也君） 1点お聞かせください。スクールソーシャルワーカー派遣事業費、その事業内容について教えてください。

○議長（中平浩志君） 中務教育部長。

○教育部長（中務秀雄君） スクールソーシャルワーカーとして、社会福祉士2名を委嘱しまして各学校へ派遣するという予定で進めておりますが、7月1日から9カ月間ということで、月二日程度ということで予定しております。

以上です。

○議長（中平浩志君） 17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） 文化会館の2億円の改修工事の関係ですが、舞台装置関係というか、舞台音響とか舞台関係というご説明でございましたが、使ってみて、

空調とか暖房とか、あれも大分古くて、寒過ぎたり、非常にこういう状況なんです。たしか、水沢Zホールは、同じぐらいの規模なんですけど、5億ぐらいかけてるんですね。私はやっぱり、計画的にやる必要はあるんだけど、これも起債事業でやってますけども、今後、アンバーホールは、今言った今回の分とあわせて、今言ったように空調とか暖房とかさまざま改修しなきゃならない段階に来ております。そういった意味では、計画的にきちっとやってほしいんですが、どういことになっているのか。Zホールなみでも5億はかかるんだと。今回2億だと。次の段階で、年次計画的にどうしていくのか、どういう計画を持っているのかお聞かせください。

○議長（中平浩志君） 中務教育部長。

○教育部長（中務秀雄君） 今、城内議員ご指摘のとおり、開館より17年経過しまして、いわゆる経年劣化等がございます。ご指摘の空調についてもございまして、今後大きな改修といたしましては、想定されるのが舞台の照明でございます。それらと空調の関係、ございますので、アンバーホールとしても計画的に、今補修計画を立てて対応していくということになってございます。

以上です。

○議長（中平浩志君） 17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） 今回、2億300万ということを出たと、表に。だから問題は、どの程度必要だというふうに全体で思っているのか。そうすると、それがどういった形で年次計画的にやっていくかという方向は示せますか。全体は幾ら必要だと思ってるの。例えば、今言った空調とか、空調、暖房でも入るんですか、そういった点で、さっき言ったようにZホールでは5億かけてやったということがありました。まあその辺は、いろんな資金問題もありますから、なかなか「はい、そうですか」とは言えないにしても、計画をどういった内容でお考えになっているのかというあたりを示していただきたい。そして、その今後の方向。

○議長（中平浩志君） 中務教育部長。

○教育部長（中務秀雄君） ご指摘の舞台照明関係でございますが、現時点での見込みですと、3億5,000万程度、空調につきましては4,200万円程度。いわゆる事業費の概算はありますけれども、いわゆる、財源との絡みもございまして、市長部局との事業の調整もご

ございますので、その辺を勘案しながらの執行ということになると思います。

以上です。

○議長（中平浩志君） 17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） いずれ建物をつくって、もう17年経過しているわけです。建物は実際、お金もかかるんですよ、建てた以上。したがって、外にやっぱりやる計画、こういう計画持ってますってやっぱり出していただいて、そうすると、今言ったように、あと舞台に3億5,000万かかるんだと。それから暖房に4,000万かかるんだということになってくると、大体それをどうやっていくか、当然出てくるわけで、そうしますと、議会側としては私たちはやっぱり出れば、出た意見も言うし、やっぱりやるべきことはやってもらわないと使えなくなりますので。私たち市民が使ってる大切な施設ですので、ちゃんとした計画をもってやっぱりやっていくというのは大事なんで、ひとつそういう点でこれは意見として申し上げておきます。私は、今後とも今言ったのを出しながら予算を立てていくということ、ぜひ計画的にやってほしいと思います。よろしくお願いします。

以上です。

○議長（中平浩志君） 8番澤里富雄君。

○8番（澤里富雄君） 文化会館についてですけども、2階にモニターテレビが2台ありますね。あれが非常に映りが悪い状況にあるようです。顔の判別もできないような、相当古いものだと思うんですけど、映像装置のほうが悪いのか映すほうが悪いのか、その辺の改修についての考えをお伺いいたします。

○議長（中平浩志君） 中務教育部長。

○教育部長（中務秀雄君） そのテレビというか映像の関係は今入っているかはちょっと確認してないんですが、いわゆる音響関係は今アナログを使用しております。今度それをデジタルにかえるということですので、恐らく含めてということになるかと思っております。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

11款災害復旧費、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 11款災害復旧費1項農林水産施設災害復旧費であります。1目漁港施設災害復旧費は、1月18日発災の暴風雪災害により被害を受

けた施設の災害復旧経費として、現年発生補助災害復旧事業費8億6,564万8,000円の増、ほか2件の増、合わせて9億2,187万9,000円の増額を計上いたしました。以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

次に、第2条、地方債の補正、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 第2条、地方債の補正につきまして、表によりご説明を申し上げます。

4ページ、5ページをお開き願います。第2表、地方債補正であります。文化会館改修事業ほか2件を追加するとともに、公共施設事業ほか1件について、表のとおり限度額を変更しようとするものであります。

以上でございます。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

以上で、質疑を終わります。

次に、討論であります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 討論なしと認めます。

それでは、採決いたします。

議案第1号「平成28年度久慈市一般会計補正予算（第1号）」は、原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中平浩志君） 起立全員であります。よって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。

~~~~~

#### 日程第4 議案第2号

○議長（中平浩志君） 日程第4、議案第2号「平成28年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」を議題といたします。

お諮りいたします。本案は、歳入歳出別に説明を受け、審議を行うことにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） ご異議なしと認めます。よって、そのように決しました。

第1条、歳入歳出予算の補正、歳入、説明を求めま

す。和野生活福祉部長。

○生活福祉部長（和野一彦君） それでは、議案第2号について、事項別明細書によりご説明申し上げます。

8ページ、9ページをごらん願います。2、歳入であります。3款国庫支出金2項国庫補助金2目国民健康保険制度関係業務準備事業費補助金は、国保制度の改正に伴う準備事業の実施に対する補助金として427万7,000円の増額を計上いたしました。

9款繰入金1項1目一般会計繰入金は、被災者支援総合交付金事業の実施に伴う繰入金として51万9,000円の増額を計上いたしました。

11款諸収入2項5目雑入は、一般会計繰入金の予算計上に伴う財源調整により、51万9,000円の減額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

次に、歳出、説明を求めます。和野生活福祉部長。

○生活福祉部長（和野一彦君） 次に、10ページ、11ページをごらん願います。3、歳出であります。1款総務費1項総務管理費1目一般管理費は、国保制度の改正に伴う国保システム経費として427万7,000円の増額を計上いたしました。

8款1項保健事業費1目特定健康診査等事業費は、財源更正を計上、この項の増減はありません。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

以上で質疑を終わります。

次に、討論であります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 討論なしと認めます。

それでは、採決いたします。

議案第2号「平成28年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中平浩志君） 起立全員であります。よって、議案第2号は、原案のとおり可決されました。

~~~~~

## 日程第5 議案第6号

○議長（中平浩志君） 日程第5、議案第6号を議題といたします。

提出者の説明を求めます。中居副市長。

〔副市長中居正剛君登壇〕

○副市長（中居正剛君） 追加提案いたしました議案第6号「平成28年度久慈市一般会計補正予算（第2号）」の提案理由についてご説明申し上げます。

今回の補正は、国のまち・ひと・しごと創生事業に係る地方創生推進交付金事業費及び国庫支出金の内定による事業費等を計上するものであります。

1ページをお開き願います。第1条、歳入歳出予算の補正は、既定の予算額に歳入歳出それぞれ1億5,034万2,000円を追加し、補正後の予算総額を228億4,083万4,000円にしようとするものであります。

款及び項の補正額は、2ページ、3ページの第1表、歳入歳出予算補正のとおりであります。

以上で、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご審議、ご決定を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（中平浩志君） これより提出議案に対する総括質疑に入ります。

質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案は、委員会の付託を省略し、直ちに審議することにしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

次に、議案の審議方法についてお諮りいたします。

第1条、歳入歳出予算の補正については、歳入歳出ともそれぞれ款ごとに説明を受け、審議を行うことにしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

第1条、歳入歳出予算の補正、歳入、13款国庫支出金、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） それでは、事項別明細書により、ご説明を申し上げます。

8ページをお開き願います。歳入、13款国庫支出金2項国庫補助金であります。1目総務費補助金は、国のまち・ひと・しごと創生事業にかかわる地方創生推進交付金1,246万5,000円の増額、2目民生費補助金は、子ども・子育て支援交付金60万1,000円の増額、4目農林水産業費補助金は、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金1億2,199万1,000円の増額、この項は、合わせて1億3,505万7,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

14款県支出金、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 14款県支出金2項県補助金であります。2目民生費補助金は、子ども・子育て支援交付金60万1,000円の増額、5目農林水産業費補助金は、岩手農林水産物消費者理解増進対策事業199万2,000円の増額、この項合わせて259万3,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

17款繰入金、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 17款繰入金1項基金繰入金であります。1目財政調整基金繰入金は1,269万2,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

次に、歳出、2款総務費、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） それでは、10ページをお開き願います。歳出、2款総務費1項総務管理費であります。6目企画費は、国のまち・ひと・しごと創生事業にかかわる地方創生推進交付金事業費2,493万円を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

3款民生費、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 3款民生費2項児童福祉費であります。1目児童福祉総務費は、大川目学童保育施設の整備設計業務として、学童保育施設整備事業費180万4,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。17番城内仲悦君。

○17番（城内仲悦君） 補正がついて、早急に大川目にもつくるということは非常にいいことですが。いわゆる学校に空き教室を当然活用することなんです。例えば今、侍浜あるし、長内わんぱくもあるしということですが、その設計段階で、いずれ関係者との話し合い、そしてやっぱり当然、外は玄関つくるだろうし、トイレとか水の必要な数もあるだと思うんですが、そういった点で、十分な話し合いをしながら設計に生かしていくというやり方をしていただきたいんですが、いかがでしょうか。

○議長（中平浩志君） 和野生活福祉部長。

○生活福祉部長（和野一彦君） 設計につきましては、父母の会、あるいは学校ともよく相談をして、よりよいものをつくり上げていきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

6款農林水産業費、説明を求めます。澤里総務部長。

○総務部長（澤里充男君） 6款農林水産業費1項農業費であります。3目農業振興費は、首都圏で農林水産物のPR等を行う経費として、岩手農林水産物消費者理解増進対策事業費161万7,000円の増額を計上いたしました。

2項林業費であります。2目林業振興費は、菌床シイタケにかかわる施設整備に対する補助金として、農山漁村活性化プロジェクト支援事業費補助金1億2,199万1,000円の増額を計上いたしました。

以上です。

○議長（中平浩志君） 質疑を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 質疑を打ち切ります。

以上で質疑を終わります。

次に、討論であります。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） 討論なしと認めます。

それでは、採決いたします。

議案第6号「平成28年度久慈市一般会計補正予算（第2号）」は、原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中平浩志君） 起立全員であります。よって、議案第6号は、原案のとおり可決されました。

~~~~~

#### 日程第6 発議案第6号

○議長（中平浩志君） 日程第6、発議案第6号を議題といたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております発議案は、各党派共同提案でありますので、会議規則第37条第3号の規定及び先例により、議事の順序を省略し、直ちに採決したいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中平浩志君） ご異議なしと認めます。

それでは、採決いたします。

発議案第6号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出について」は、原案のとおり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（中平浩志君） 起立全員であります。よって、発議案第6号は、原案のとおり可決されました。

~~~~~

#### 終了

○議長（中平浩志君） 以上で、本日の議事日程は全部終了いたしました。

これをもって本日の会議を閉じ、第7回久慈市定例会議を終了いたします。

午後2時42分 終了